

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	16	学校名	五條高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	スクールコットンプロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	生徒会活動として実施。全校生徒の参画が可能なように呼びかけたうえで、生徒会役員および有志が、自分たちの身近にあるものがどのようにしてできているのかを、地域の小学生や保護者とともに学ぶ機会とする。
連携・協働相手	五條市内小学校や小学生の保護者
地域と共有している目標・課題等	地域の活性化、地域との連携、高校生のボランティア活動への参加
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>校内で育てた綿を使って、市内の小学生とその保護者を招いて「クリスマスリース作り」のイベントを行った。小学生20名と保護者（申込先着順）が参加した。生徒会役員と有志生徒が企画、準備をし、小学生への指導に加え、受付や司会などの運営も行った。3年ぶりの開催であったが、高校生の活躍もあり、円滑に運営できた。保護者向け事後アンケートの結果は大変好評で、来年も来たいという声が多くあった。高校生にとっても地域の子どもたちや保護者と関わる貴重な機会となった。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>10日間の受付期間をとっていたが2日目で定員の20名に達し、参加した子どもたちは楽しそうに、生き生きとリース作りに取り組んでいた。サポートする高校生もやりがいを感じて楽しそうで、笑顔あふれるイベントとなった。リースのオーナメントに使う綿は過去のストックがあり、何とか今回はまかなえたが、今年はやや不作で、来年度も十分な量が用意できるか心配である。リース作りのイベントでは、「私たちの身近にある綿」というテーマで小学生とともに学習したが、高校生自身も綿を育てることを通して、フェアトレードなど、自身で感じた興味関心に基づいた学習をさらに深めていきたい。</p>
--

